

財政健全化の状況

本市独自基準(財政運営判断指標)

「富士見市健全な財政運営に関する条例」に基づく財政運営判断指標は、前年度より向上しています。

財政運営判断指標	令和元年度 決算実績	令和2年度 決算実績	目標値
財政力指数(※1)	0.829	0.837	0.860
経常収支比率(※2)	91.7%	91.1%	90.0%以下
財政調整基金比率(※3)	18.6%	19.8%	15.0%以上
地方債残高比率(※4)	116%	117%	120%以下
債務償還可能年限(※5)	4.5年	4.3年	4.5年以下

- (※1) 財政基盤の強さ。指数が大きいほど財政力が強い
- (※2) 財政構造の弾力性。比率が低いほど弾力性が高い
- (※3) 標準的な1年間の収入(標準財政規模)に対する財政調整基金残高の割合。比率が高いほど貯金が多い
- (※4) 標準財政規模に対する地方債残高の割合。比率が低いほど残高が小さい
- (※5) 負債総額が返済可能な規模になっているかを表す。年数が小さいほど負債が小さい

国基準(健全化判断比率)

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく健全化判断比率は、すべての指標で健全な数値を維持しています。

健全化判断比率	令和2年度 決算実績	早期健全化 基準値
実質赤字比率(※1)	-	12.42%以下
連結実質赤字比率(※2)	-	17.42%以下
実質公債費比率(※3)	2.3%	25.0%以下
将来負担比率(※4)	-	350.0%以下

- (※1) 標準財政規模に対する一般会計等(一般会計、鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計、鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計、公共用地先行取得事業特別会計)の実質赤字額の割合。赤字ではない場合は「-」と表記
- (※2) 標準財政規模に対する市のすべての会計の実質赤字額の割合。赤字ではない場合は「-」と表記
- (※3) 標準財政規模に対する一般会計等で負担する借入金の償還金等の割合。比率が小さいほど負債が小さい
- (※4) 標準財政規模に対する一般会計等で将来負担する負債の割合。充当可能財源が将来負担額を上回る場合は「-」と表記

債務と貯金の状況

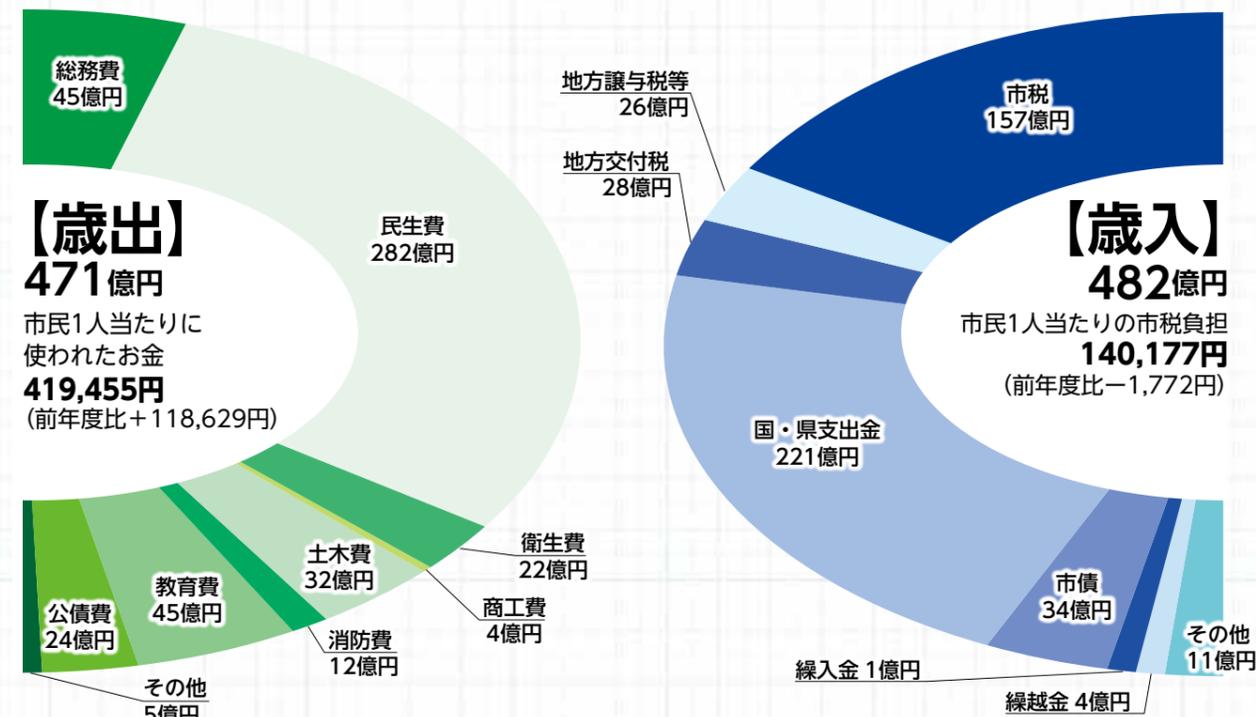
市の債務
(市の全会計の債務残高) **336億円**
(前年度比+10億円)

市の貯金
(財政調整基金の残高) **41.3億円**
(前年度比+3.3億円)



令和2年度の歳出・歳入

歳入(収入)は前年度と比べて137億9,442万719円増の481億8,839万8,025円、歳出(支出)は前年度と比べて133億9,128万3,665円増の470億6,451万8,497円となりました。翌年度に繰り越す財源を除いた実質収支は、6億8,412万5,709円の黒字となりました。



歳出(支出)の主な特徴

- 民生費は、特別定額給付金の給付や幼児教育・保育の無償化に伴う給付費の増などにより109.3億円の増
- 商工費は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内経済の活性化を目的としたプレミアム付商品券やクーポン券の発行などにより3.3億円の増
- 教育費は、GIGAスクール構想に伴う基盤整備やパソコン購入などにより11.4億円の増

歳入(収入)の主な特徴

- 市税収入は、法人市民税の減などにより、前年度に比べ1.6億円の減
- 地方譲与税等は、地方消費税交付金の増などにより、前年度に比べ3億円の増
- 国・県支出金は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急生活支援として給付した特別定額給付金に係る補助金や新型コロナウイルス感染症対策に係る補助金の増などにより、前年度に比べ132.5億円の増

地方消費税交付金(社会保障財源化分)の使いみち

地方消費税交付金のうち社会保障財源化分の11億5,776万円は、次の経費に使用しました。

社会福祉関係(子育て、高齢者福祉など)	700,466,000円
社会保険関係(国民健康保険、介護保険など)	381,932,000円
保健衛生関係(疾病予防、医療体制確保など)	75,362,000円
計	1,157,760,000円

令和2年度一般会計決算の概要



フレイルチェックの実施



ボラードの設置

安心して安全に、元気でイキイキと暮らしていける取組み

- 振り込め詐欺対策電話機などの購入への補助 ▶20万円
- 駅周辺への街頭防犯カメラ設置と市内団体による同カメラ設置への補助 ▶463万円
- 車両用防護柵やボラードの設置など交差点安全対策の実施 ▶2,231万円
- 凶川排水機場のポンプ増強工事の実施 ▶2億5,448万円
- 前谷排水機場のポンプと水路改修の実施 ▶3,474万円
- 乳がん個別検診の実施 ▶101万円
- 高齢者フレイルチェックの実施 ▶61万円



市をPRする電車広告

市の活気と賑わいにつながる取組み

- 鶴瀬駅東口駅前広場の整備 ▶8,199万円
- 産業団地へのアクセス道路の整備 ▶9,707万円
- 電車広告などシティプロモーションの推進 ▶200万円
- 宮下ちびっこ広場の取得 ▶8,244万円
- 市内中小企業の新たな取組みへの支援 ▶37万円



整備が進む鶴瀬駅東口駅前広場

ICT技術を活用する取組み

- GIGAスクール構想による基盤整備とひとり1台パソコンの整備 ▶9億5,277万円
- 住民票などのコンビニ交付サービスの導入 ▶4,368万円
- RPAツールの導入 ▶283万円



Web会議システムを活用した授業

新型コロナウイルス感染症への取組み

- 特別定額給付金の給付 ▶112億2,814万円
- 特別定額給付金の対象外となる新生児への給付金「スクスク子育て応援特別給付金」の給付 ▶6,200万円
- ひとり親世帯や子育て世帯への給付金の給付 ▶2億9,685万円
- 新型コロナワクチン接種体制の整備 ▶3,682万円
- 市立保育所の保健衛生用品の購入 ▶551万円
- プレミアム付商品券と消費活性化クーポン券の発行 ▶3億1,302万円
- 民間保育所などの保健衛生用品購入などへの補助 ▶3,987万円
- 放課後児童クラブの保健衛生用品の購入 ▶856万円
- 小・中・特別支援学校の保健衛生用品の購入と網戸の設置 ▶3,915万円



新型コロナワクチンの集団接種会場



子育て支援と確かな教育の充実につながる取組み

- 針ヶ谷第2放課後児童クラブと諏訪第3放課後児童クラブの整備 ▶6,587万円
- 幼稚園が行う特色のある幼児教育や預かり保育への補助 ▶529万円
- 子育て経験者などによる妊産婦への相談支援 ▶95万円
- 助産師による産婦の授乳に関する訪問相談支援 ▶19万円
- 産婦健康診査への補助 ▶294万円



STEM教育の実施

- スクール・サポート・スタッフの配置 ▶480万円
- 小中一貫教育支援員の配置(モデル校) ▶109万円
- STEM教育の実施(モデル校) ▶289万円

令和2年度は、令和3年3月月末で終期を迎えた第5次基本構想・後期基本計画に基づき、市の活気と賑わいにつながる施策や子育て支援と確かな教育につながる施策、安心と安全に元気でイキイキと暮らしている施策、ICT技術を活用した施策に取り組みました。また、新型コロナウイルス感染症対策については、保育所や学校などの公共施設などで感染予防対策を講じたほか、市民への経済的な支援や市内経済の活性化につながる事業などを展開しました。

令和2年度に取り組んだ 主な事業